

観察方式による利用者本人調査

平成 29 年 2 月 13 日、2 月 17 日

事業所名：神ノ木保育園

【0 歳児】

<園庭遊び>

園庭のベンチの一角に集まって遊んでいます。周りの砂を集めて茶碗や皿に入れてあります。保育士が「ぱらぱら」とお手本を見せます。子どもも真似をします。カップを持ってトコトコと、アニメのキャラクターの置物のところに行き、「カンパーイ」と真似ごとをします。時折保育士がわらべ歌を歌い、穏やかな雰囲気になります。

<食事>

グループごとに時間差で食事を始めます。子どもがスプーンを使って上手く口に運べると「じょうず、じょうず」「そうそう」と保育士は褒めています。子どもがうれしそうに食べると「おいしいね」と笑顔で語りかけます。うまく口に入らない子どもには時おり職員がスプーンで援助しています。

<廊下のコーナー遊び>

0 歳児クラスは 20 名のため、次の活動に移る時など、子どもたちが大人数で混乱したり、順番を待っている感覚を持たないように、一つのグループは保育室を出て、廊下の隅に作った遊びのコーナーで遊びます。カーペットの上で、保育士に絵本を読んでもらったり、おもちゃで遊んでいます。

<バイバイ>

道路に面した側の窓から、子どもたちは見晴らしの良い外の景色を眺めます。調査員が外から手を振ると、手を振って応えてくれます。

【1 歳児】

<園庭遊び>

子ども 2 人がビニール袋を提げ、手をつないでニコニコ歩いていると、保育士が「お買い物ですか？」と問いかけ、子どもたちはニコニコトコトコ去ってゆきます。フラフープを電車に見立て、子どもがスタンバイします。保育士が「準備オーケー。しゅっぱーつ。ガタンゴトン」子どもがかけ出すと「特急列車早いなー」と保育士が後を追います。子どもはキャッキヤと笑いながらかけまわります。別の場所ではカゴメカゴメのように「あわぶくたったにえたった・・・」と保育士が歌いながら、しゃがんだ子どもを数人の子どもが輪を作り回ります。と、別のことに興味があった子どもがかけ出すとみんなかけ出し

ます。保育士は「もう終わり？」と少し残念そうです。

<遊び>

保育室の一角に手作りコマ、指人形などおもちゃを広げて遊びます。トイレから戻った子どもがうれしそうに保育士に飛びつきます。「〇〇ちゃん、おかえり」とやさしく受け止めます。座っている保育士の背中に寄りかかり、リラックスした様子で歌を口ずさみながら指人形で一人遊びをしている子どもがいます。

<排泄>

外遊びから戻るとトイレに行きます。出ても出なくても便器に座ります。長く座っている子どもには「〇〇ちゃん、出なかったら無理しなくていいよ」とさりげなく声をかけています。便器に座っている他の子どもの様子をしゃがみこんで見つめている子どももいます。保育士は、時折静かにわらべ歌を口ずさみながら、子どもを援助しています。

<午睡>

布団に入ったら早々に寝入ってしまう子ども、隣同士の子どものと何やら楽し気にしている子ども、保育士に頭を撫でてもらったり、体をやさしくトントンしてもらって入眠する子どもとさまざまです。保育士に抱きつく子どもをポンポンとやさしく抱き上げ「おっきたら（起きたら）またしてあげるね」と布団に寝かせます。自分で寝る場所を決めたい子どもは、布団を持って移動します。広げて寝て、また丸めて移動したりしています。

【2歳児】

<遊び>

砂場で、「せんせい、かきごおりたべて、もいっこ（もう一個）たべて」と保育士に容器に砂を入れて渡します。「ありがとう」保育士は笑顔で受け取ります。山作りをしているグループは、ある程度の高さになると子どもが「ゆきふってるの」と言います。保育士は「じゃ、白いお砂かけよう」とパラパラとかけます。どうやら富士山に見立てているようです。

<食事>

和食の献立（鮭、ジャガイモのおかか煮）は、子どもたちに人気で、いつもより食べるペースも早いとのことで、何人もおかわりをしています。普段は食が細く、食べるのがゆっくりな子どもも「おかわり」と保育士に伝えます。職員は驚きながらもおかわりを確認に行きますが、今日は売り切れとなっていました。「ごめんね。せっかく〇〇くんがおかわりしてくれたのに、今日はなくなっちゃった」と残念そうです。野菜が苦手で、食べるのを嫌がっていた子どもには、「じゃ、一口だけ食べてみようよ」と誘います。やっとなら一口食べると「じ

や、後これだけ食べてみよう」と保育士が一口、口に運びます。少しずつ食べ、気づくと完食しています。

<歯みがき>

今日は、園での歯みがきデビューの日です。食事が終わると、自分の席で歯を磨きます。「上の歯・・・下の歯・・・、奥の歯も・・・そうそう、いーってやってごらん」と保育士が指導をします。子どもたちは真剣に磨きます。磨き終わると保育士が仕上げ磨きをしますが、「おうちでも磨いているから、みんな上手だね。ぴかぴかしてます」と伝えます。その後は口をすすぎにコップを持って洗面所に向かいます。

【3歳児】

<散歩>

9時過ぎには、西寺尾の丘公園（通称へび山公園）へ子どもたち18名に保育士2名が引率して散歩に出かけます。調査員は、園長の案内で後を追ひ、観察しました。子どもたちは、急斜面を階段の上り下りや大木の露出している根を何本も伝わって坂の上に登ってゆきます。保育士は、子どもたちが、上手に根を掴むことが出来るよう見守り、援助をしています。登り終わった子どもたちは、他の保育士の声かけで、子どもが安全にすべ降りられる位置に誘導し、斜面の落ち葉や枯草の上をお尻から滑り降りてきます。この遊びを何回も繰り返し楽しんでいます。途中子どもから「園長先生は？」と質問を受けた調査員が「園に帰ったよ」と答えると、「なんで帰ったのかな」一緒に遊びたい気持ちをつぶやいていました。保育士は、（公園に来る途中）「今日どんな花を見ましたか」子どもたちは「梅、河津桜」「それ以外は、ボケです」と季節を感じる話をしています。遊んだ後で、まだ体が熱く上着を着たくない子どもには、保育士が上着の袖を腰に回して結んでいます

【4歳児】

<食事>

当番の子どもたちは、保育士の指導のもと、テーブル拭きのタオルを手洗い場で洗い良く絞ってから、テーブルを拭いています。他の子どもは椅子を持って来て静かに座っています。保育士は、調理室からワゴンで食材、食器を持ってきて、配膳用テーブルに並べます。職員は2テーブル単位で子どもたちに声をかけて、食材を自分が食べられる量だけ盛り付けています。全員の配膳が終わったところで、保育士の掛け声で「いただきます」で食事が始まります。保育士は「今日のおかわりは、長い針が4まで、6でごちそうさまをします」と食事の時間配分を伝えています。子どもたちは「おかわり」と声を出してからお

かわりしています。「ごちそうさま」のあと歯磨きを始めます。保育士の仕上げ磨き後、パジャマに着替え絵本読みをしています。最初に着替える子どもが、カーテンの半分を閉めて外から見えないようにしています。

【5歳児】

<散歩後、園庭で自由遊び>

公園散歩の後、給食までの間は園庭で自由遊びです。保育士は、子どもたちにどんな遊びをするか聞き、ドッチボールをすることになりました。子どもたちは一列に並び、前からランダムに帽子の表（青）と裏（白）を決めて二組に分かれます。じょうろに水を入れ、ドッチボールの線を水で書いています。子どもたちは、先攻、後攻を決めて、「おねがいします」の掛け声で始めます。コートの中でボールをうまく取れなかった子どもは、コートの外にすぐに出て、ゲームを再開します。他の保育園とのドッチボール大会も経験しているので、ゲームの進め方を工夫しながら、楽しんでいます。

<みつ馬>

みつ馬を知らない調査員のために、園長が、どろどろランドで遊んでいる子どもたちに声をかけに行ってくれます。呼ばれた数人の子どもたちは、どろどろランドから、みつ馬を披露してくれる玄関先まで興味津々の様子で、「みつうまやるの〜?」「みせてあげるの〜?」と口々に園長に問いかけながら、園長に群がるように坂道を駆け下りてきます。木製の三角形の枠組み（手作り）の底辺の端に足を乗せ、頂点を下腹部で支え、バランスをとりながら歩いたり、リズムをとったりします。バランス感覚の良さに思わず拍手をすると、子どもたちはもちろん、園長も自慢げな表情になります。

【4歳児5歳児】

<どろどろランドで自由遊び>

4、5歳児が数人のグループになって、土を掘ってカップやバケツに入れたり、土に水を含ませおにぎりを作ったり、テーブルの上でままごと遊びをしたり、土で山を保育士と作るなど、思い思いにどろんこ遊びをしています。4、5歳児担任の保育士二人で、子どもたちの動きを見守っています。ばんそうこうが取れそうになった子どもは、「これ変えてください」と保育士にばんそうこうの交換を頼み、交換が終わるとすぐに友だちとままごと遊びを始めています。4歳児の保育士は、時計を指さし「長い針が5になったらお片付けね」と終わりの時間を告げています。片付けが終わると、水道で順番に手洗いを行ってから保育室に戻ります。5歳児は、給食前まで遊びを続けています。